

ずいぶんご無沙汰してしまいました。この間様々な状況の変化があり、書けなくなっていました。昨年11月24日、母が亡くなりました。仕事一途に取り組んだ父の後押しをし、その後寝たきりになった父を6年間に渡り在宅介護をして3月1日に見送り、そしてあの震災原発事故。お骨を抱えての避難生活、自身も胸部大動脈瘤があり5月に入院、大手術を、持ち前の気丈さで乗り切ったものの、突然のガンの発症。余命半年の宣告を受けての厳しい闘病生活の間中いつも前向きに生きようとしていた姿は人としての魂の本質を見る思いでした。享年84歳。最期まで取り乱すことなく、凜とした姿勢を貫き、私たちに「生き抜く」ことの美しさを、身をもって示して逝きました。

＝生き抜く＝今、私の中でこの言葉が、母の最期の姿と共に大きな力になっています。時が立つにつれて明らかになってゆく原発事故の重大さ、未来に与える影響の大きさに、心はともすれば折れてしまいそうになりますが、世界に向かって発信を続けることが今の私たちに課せられた使命だと思ふようになっています。この状況を隠すことなく伝え続けること、世界中の人と、このプロセスを共有することが未来の希望を創ることだという想いが強まっています。

原発事故は終わっていません！にもかかわらず、日本の政府は原発を輸出し、国内の原発を再稼働させようとしている。時が経つに連れ、県外の人たちにとっては原発事故が他人事のようになり忘れてしまいがちになっている・・・みなさん、南相馬へ来てください！みえない放射能と向き合って果敢に生き抜こうとしている私たちに会いに来て下さい！

2月18・19日若者たちによる「南相馬ダイアログフェスティバル」が開かれます。未来への扉を開こうとする若者たちのスタートです！震災後、地元の若者たちが、自分達のまちを自分達で再生させようと、思い思いに様々な活動をしてきました。10ヶ月を経て彼らがようやく繋がり、一つになって旗上げをすることになったのです。以下に彼らからの呼びかけ文を紹介させていただきます。

～5つのテーマで未来への対話（ダイアログ）をしよう～

(5つのテーマ：つながる・暮らす・食べる・育む・楽しむ)

南相馬市民が集い“これからの未来”について話し合える対話の場を作ります。

いまだ多くの問題を抱える南相馬市ですが、私たち市民の目線からも南相馬の未来を考えたときに、何かできることがきっとあるはず！自分たちの暮らす街のことは自分たちで考え、自分たちで創っていきましょう！その為にはより多くの市民が集まり話し合うことで“気付き”があり、夢のある未来への希望が生まれるはずですよ。

そして、いまや世界から注目されている南相馬の市民が“これからの未来”について考え、動き出していることを世界に伝えることで、その夢も現実になっていくのです！

現在は月に1～2回の全体会を開催しその意志を膨らませています。2月18・19日に行うスーパー全体会では、さらに多くの市民の熱い想いを結集するべく、ゆめはっと全館を使用し皆が楽しめるイベントやワークショップを交えながら大きな対話の場を作ります。

震災、そして原発事故でひっくり返ってしまった、僕たちの街：南相馬。

今ここで地域の誇り・絆・郷土愛を見つめ直し、新しい未来の話をしよう！

南相馬ダイアログ <http://minamisomadialog.iku4.com/>

みなさん、南相馬へ来てください！南相馬の若者たちに会いに来て下さい！

2012年1月30日